

地形・地質

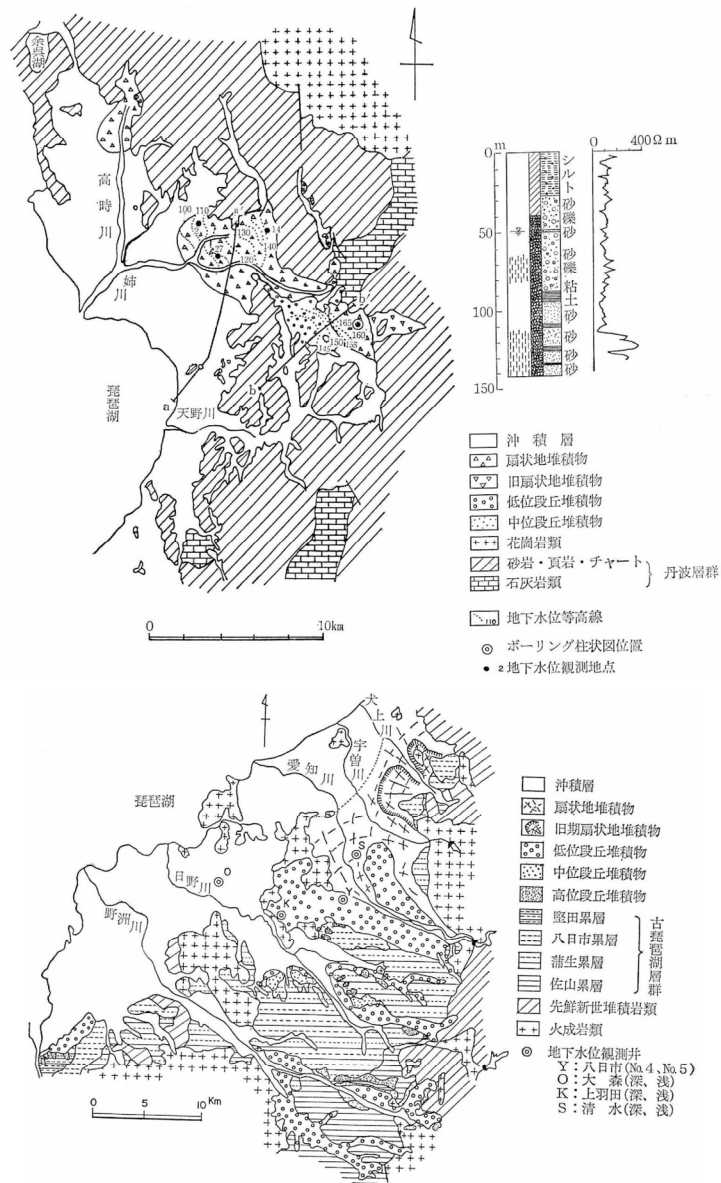
近江盆地北部は琵琶湖北東岸の地域で、姉川河口部には三角州が発達し、河川が山地から低地に出た付近には扇状地がみられます。近江盆地南部は琵琶湖南東岸の地域で、河川沿いに数段の段丘がみられます。地質は古琵琶湖層群を不整合に覆って段丘堆積物や扇状地堆積物、沖積層が分布します。

近江盆地南部地域と周辺地域の地質層序と帯水層

地質年代	絶対年代	地質区分	層相	地下水	
第四紀	更新世 万年	被覆層	沖積層	礫, 砂, 粘土	主として不圧地下水 湖岸寄りでは被圧している。
			最上部洪積層	主として砂礫	
			低位段丘層		
			中位段丘層		
第三紀	鮮新世	古琵琶湖層群	堅田累層	砂泥層	被圧地下水
			八日市累層	主として砂礫	
			蒲生累層	中粒~粗粒砂を主とする砂, 粘土互層	
			佐山累層	粘土の優勢な砂, 粘土互層	
			油日累層	中粒砂~砂礫	
			島ヶ原累層	亜炭, 粘土を挟む花崗岩質砂礫	
第三紀	中新世	鮎洞層群	礫岩, 砂岩, 泥岩		
			先新第三紀		花崗岩, 流紋岩, 中生層, 古生層

地下水

近江盆地北部では、段丘や扇状地性の堆積物とその相当層、一部の沖積層は、不圧地下水の良好な帯水層を、古琵琶湖層群は被圧帯水層を構成しています。近江盆地南部では、古琵琶湖層群八日市累層（被圧帯水層）と愛知川沿岸の扇状地性の堆積物（段丘堆積物を含む・不圧帯水層）は、優れた帯水層となっています。



近江盆地の水文地質図（上図：北部地域、下図：南部地域）

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）